

幼稚園教育課程モデルの編成

田中 敏明^{*1}・石川 ますみ^{*2}・貞方 聖恵^{*3}

^{*1}九州女子短期大学子ども健康学科 北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1 (〒807-8586)

^{*2}豊岡短期大学通信教育部 兵庫県豊岡市戸牧160番地 (〒668-8580)

^{*3}福岡教育大学非常勤講師 福岡県宗像市赤間文教町1-1 (〒811-4192)

(2019年10月28日受付、2019年12月16日受理)

要 旨

教育課程は教育の出発点であり、教育活動は教育課程に基づいて展開される。幼稚園教育では確かな教育課程モデルがなく、保育計画や実践を確かなものにするために教育課程モデルが求められている。そこで、3歳から5歳の幼稚園教育期間を対象に、次のような方針に基づいて教育課程を編成しモデルとして提示した。①目指す子ども像、教育目標、ねらいと内容、年齢別指導内容、保育行事、家庭・小学校・地域との連携によって構成する②日々のねらいや内容のすべてを示す③ねらいと内容は幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容を基本とし、領域別に表示する、④2017年改訂の幼稚園教育要領に示された3つの資質・能力および幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10項目)との関連を示す、⑤ねらいや内容は領域間、領域内の内容間のバランスが取れ大きな偏りがないようにする、⑥年齢別指導内容は、ねらいと対応している、日々の保育と対応している、具体的で子どもの育ちの姿がイメージできる、内容に継続性と発展性がありそれぞれの年齢の発達に対応しているなどの条件を満たすように構成する。

幼稚園教育課程の現状とモデル提示の必要性

教育課程は年間指導計画から日々の計画まで、全ての計画のもとになるものであり、教育活動の出発点とすることができる。教育課程は小学校学習指導要領解説・総則編¹(2018)で「学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を児童の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校のエデュケーション計画」と定義されている。したがって、全ての教育機関では教育課程を定め、これに基づいて年間指導計画から日々の計画までの計画を立てそれに沿って教育を展開していくことになる。幼稚園教育要領²(2017)でも「創意工夫を生かし、幼児の心身の発達と幼稚園及び地域の実態に即応した適切な教育課程を編成するものとする。また、各幼稚園においては、全体的な計画にも留意しながら、『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を踏まえ教育課程を編成すること、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的または物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各幼稚園の教育活動の質の向上を図っていくことに努めるものとする」と記述され、教育課程の編成を求めている。幼稚園教育要領解説³(2018)では、教育課程編成上の基本事項として次のような点を指摘している。○幼児の調和のとれた発達を図るという観点から、幼児の発達の見通しなどをもって編成する。○幼稚園の人的、物的条件や地域社会の実態を考慮して編成する。○創意工夫を生かし特色のあるものにする。○具体的なねらいと内容を組織する。○幼稚園教育要領に示されているねらいと内容が総合的に始動され達成されるようにする。○幼児期の発達の特性を踏まえる。○入園から卒園までの長期的な視野を持つ。

教育課程の編成が法的に求められていることから、多くの幼稚園が教育課程を編成している。しかしながら、その多くはねらいや内容の一部が断片的に記述されたものにとどまり、園が行う全ての教育の基礎となるものとなっていない。多くの保育雑誌は毎年年間指導計画のモデルを掲載するものの、教育課程モデルが掲載されることはほとんどない。そのため、掲載される年間計画モデルは多くの問題点を抱えている。田中、金丸、永淵⁴(2012)は、保育雑誌に掲載された年間指導計画に共通する問題点として次のような点を指摘している。

- ・ねらいと内容の区別があいまいで同じような記述がねらいと内容の両方に登場する
- ・内容のみが記述されている項目が多くねらいと内容が対応していない
- ・言葉の領域と表現の領域はねらいの記載がほとんどなくねらいと内容の領域間の偏りが大きい

- ・ねらいや内容の一部しか記載されていない
- ・内容が具体性にかけ、どの年齢、期にも当てはまるものが多い
- ・内容に連続性、系統性、発展性がない

これらの問題点は、田中他⁵ (2018) の同様の分析でもほとんど改善されていない。

このような状況が生まれる原因として次の点を指摘することができる。まず第1に、教育課程編成のよりどころとなる幼稚園教育要領がわかりにくく具体性に欠けることである。小学校学習指導要領では、教科ごとに教科目標が示され、さらに学年ごとに目標と具体的な内容および活動が記述されている。これに対して、幼稚園教育要領では園生活全体を通して達成するねらいと内容だけが記述され、年齢ごとのねらいや内容は一切示されていない。幼稚園教育要領解説でも、「具体的なねらいと内容を組織する」との記述にとどまり、具体的なねらいと内容は例示されていない。第2に、具体的な教育課程とはどのようなものかについてのモデルが示されていないことである。第3に、幼稚園教育の現場では、「どのような活動を経験させるか」に重点が置かれ、具体的に何を育てるかすなわちねらいや内容がさほど重要視されないことが考えられる。このような状況のもとでは、教育の原点として子どもたちを確かに育てる保育とは程遠い現状にあると言わざるを得ない。幼稚園教育課程モデルの編成が求められる。

このモデルを手掛かりにして幼稚園や保育所、認定こども園で教育課程が作成され、ねらいを意識し達成する教育が展開されることを期待する。

教育課程モデル編成の基本方針

次のような方針に基づいて教育課程を編成する。

- 1) 対象は幼稚園教育の対象年齢である3歳(年少クラス)、4歳(年中クラス)、5歳(年長クラス)とする。
- 2) 教育課程は、目指す子ども像、教育目標、ねらいと内容、年齢別指導内容、保育行事、家庭・小学校・地域との連携によって構成する。
- 3) 日々のねらいや内容のすべてを示す。
- 4) ねらいと内容は幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容を基本とし、領域別に表示する。
- 5) 必要に応じて幼稚園教育要領に示されていない内容を加えたり、いくつかの内容をまとめて表示する。
- 6) 2017年改訂の幼稚園教育要領に示された3つの資質・能力(知識及び技能の基礎、思考力・判断力・表現力の基礎、学びに向かう力・人間性)および幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10項目)との関連を示す。
- 7) ねらいや内容は領域間、領域内のバランスが取れ、大きな偏りがないようにする。
- 8) 年齢別指導内容は田中⁶ (2014) から引用し、年齢ごとに表示する。
- 9) 年齢別内容は、次の条件を満たすように構成する。

- ①年間指導計画、月の計画、日案などの指導計画や、日々の保育の内容にそのまま用いることができる。
- ②ねらいと対応している。
- ③日々の保育と対応している。
- ④具体的で、子どもの育ちの姿がイメージできる。
- ⑤内容に継続性と発展性があり、それぞれの年齢の発達に対応している。

編成した年間計画モデルを付表として示す。なお、紙面の関係で、保育行事、家庭・小学校・地域との連携については省略する。

引用文献

- 1) 小学校学習指導要領解説・総則編
- 2) 幼稚園教育要領 文部科学省 2017
- 3) 幼稚園教育要領解説 フレーベル館 2018
- 4) 田中敏明, 金丸智美, 永渕美香子 「保育雑誌に掲載される年間指導計画モデルの問題点Ⅱ一問題点を改善したモデル提示」福岡教育大学教育実践センター教育実践研究 第20号 P155-161, 2012
- 5) 田中敏明, 屏賀一男, 井手裕子, 高木富士男 「保育雑誌に掲載される年間指導計画の分析—改訂された幼稚園教育要領等の「資質・能力」及び『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』の視点から—」九州女子大学紀要, 第55巻1号, p 73-86, 2018
- 6) 田中敏明 「幼稚園・保育所指導計画作成と実践のためのねらいと内容集」北大路書房, 2014

付表 幼稚園教育課程モデル

1. 教育目標

- (ア) 十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持及び情緒の安定を図る。
- (イ) 健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う。
- (ウ) 人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う。
- (エ) 生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培う。
- (オ) 生活の中で、言葉への興味や関心を育て、話したり、聞いたり、相手の話を理解しようとするなど、言葉の豊かさを養う。
- (カ) 様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う。

2. 領域、ねらいおよび内容（*印は独自に付け加えた内容）

領域	ねらい (3年間を通して達成に向かうもの)	内 容 (具体的な活動を通して総合的に指導するもの)	育みたい資質・能力 との関連	幼児期の終 わりまでに 育ってほし い姿との関 連
健康	(1) 明るくのびのびと行動し、充実感を味わう	①安定感、充実感満足感・安定感を持つ ②*様々な活動に目標を持って立ち向かい根気強く取り組む ③*いやなこと辛いことに負けない強い心を持つ	学・人 学・人 学・人	1 1 1
	(2) 自分の体を充分に動かし、進んで運動しようとする	④様々な活動を楽しみ、十分に体を動かして基礎的な運動技術や能力を身につける	知・技 学・人	1
	(3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身につけ、見通しを持って行動する	⑤自分の健康に対する関心を持ち、病気の予防などに必要な活動を自分でする。	知・技 学・人	1
		⑥先生や友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心を持つ	知・技 学・人	1
		⑦身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄せつの習慣を身につける	知・技 学・人	1
		⑧園における生活の仕方がわかり、見通しを持って行動し、健康で快適な生活の場を作ろうとする	知・技 思・判・表	1
人間関係	(1) 幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう	⑨危険な場所、危険な遊び方がわかる	知・技 思・判・表	1
		⑩災害時などの緊急時の行動の仕方がわかり、適切、安全な行動がとれる	知・技 思・判・表	1
		①自分でしなければならないことを自覚し、自分のことは自分で考えて自分の力で行う ②*環境に主体的に関わり遊びを創り出す ③諦めずに最後までやり遂げる	学・人 思・判・表 学・人	2 2 2
	(2) 身近な人と親しみ、かかわりを深め、工夫したり協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ	④自分の思いの表し方を考えて表し、相手の思っていることに気付く	思・判・表	3
		⑤*我慢や、気持ちを切り替えができる	学・人	3
		⑥自分や友達の良さがわかり、一緒に活動する楽しさを味わう	思・判・表	3
		⑦みんなで目的や願いを共有し、工夫したり協力して達成しようとする	学・人	3
		⑧*家族を大切にしようとする気持ちを持つ	学・人	5
		⑨*親や先生、友達、周囲の人に感謝の気持ちを持つ	学・人	5
	(3) 社会生活における望ましい習慣や態度を身につける	⑩生活に関係の深い地域や高齢者をはじめ地域の人々に親しみの気持ちを持ち、良さを感じる	学・人	5
		⑪思いやりの気持ちを持つ	学・人	4
		⑫してよいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する	知・技 思・判・表	4
		⑬決まりを守る必要性が分かり、決まりを作ったり守ったりする	思・判・表 学・人	4
		⑭*相手の気持ちや立場を考えて行動する	思・判・表 学・人	4
		⑮共同の遊具や用具を大切に、皆で使う	知・技 学・人	4

環境	(1) 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ	①自然に触れて生活し、自然の大きさや美しさ、不思議さ、変化などを感じる ②身近な動植物に親しみを持って接し、生命の尊さに気づき、いたわり大切に感じる気持ちを持つ	学・人 学・人	7 7
	(2) 身近な環境に自分からかわり、発見を楽しんだり考えたりし、それを生活に取り入れようとする	③生活の中で様々なものに触れ、その性質や仕組みに興味、関心を持ち、工夫して使う	思・判・表	6
		④身近な事象に興味、関心、好奇心、探究心を持ち、気付いたり、発見を楽しんだり、試したり、考えたり、判断したり、振り返ったりする	思・判・表	6
		⑤*身近な情報に興味を持ち、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報を伝え合ったり、活用したり、情報に基づき判断する	思・判・表	5
		⑥生活の中で、我が国や地域が育んできた文化や生活などに親しむ	知・技 学・人	5
		⑦*外国の文化や外国の人に興味を持つ	知・技 学・人	5
	(3) 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする	⑧数量や図形に関心を持ち、数量、長短、広さや速さ、図形の特徴などに親しみ、数えたり、比べたり、組み合わせたりする	思・判・表	8
		⑨文字等への関心を持ち、標識や文字が人と人をつなぐ役割を持つことに気づき、読んだり、書いたり、使ったりする	知・技 学・人	8
言葉	(1) 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう	①したいこと、見たこと、聞いたこと、感じたことを言葉で表現する	思・判・表 学・人	9
	(2) 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう	②相手の話の内容を注意して聞き、伝える相手や状況に応じて分かるように話す ③話し合いができる	思・判・表 学・人 知・技 学・人	9 9
	(3) 日常生活に必要な言葉がわかるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、先生や友達と心を通わせる	④絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞く ⑤いろいろな体験を通して言葉やイメージを豊かにする ⑥言葉の美しさや楽しさなどに気付く	学・人 知・技 学・人 知・技 学・人	9 9 9
表現	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ	①様々な音、形、色、手触り、動きや美しいものや心を動かす出来事に触れ、感じたり、感動したり考えたりする	思・判・表 学・人	10
	(2) 感じたことや考えたことなどを自分なりに表現して楽しむ	②感じたことや考えたことなどを音や動きなどで表現する	思・判・表	10
	(3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ	③表現する喜びと意欲を持ち、思いのままにかいたり、つくったり歌ったり、演じたりなどして表現する	思・判・表 学・人	10
		④自分のイメージを言葉や動きで表現し、創造的な活動を作り出す	思・判・表 学・人	10

育みたい資質・能力との関連

知・技：知識及び技能の基礎

思・判・表：思考力、判断力、表現力の基礎

学・人：学びに向かう力、人間性

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連

1. 健康な心と体 2. 自立心 3. 協同性 4. 道徳性・規範意識 5. 社会生活との関わり
 6. 思考力の芽生え 7. 自然との関わり・生命尊重 8. 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
 9. 言葉による伝え合い 10. 豊かな感性と表現

年齢別指導内容 紙面の関係で領域「表現」の指導内容③④は省略する

領域	ねらい	内容	3歳	4歳	5歳
健康	(1)	①	・喜んで登園する → ・安定感をもつてのびのびと行動する → ・園生活が不安なくできる →	→ →	→ →
		②	・元気いっぱい意欲的に活動する → ・自分なりに目的を持ち、始めたことを最後までやりとげようとする → ・今までできなかったこと、難しいと思うことに挑戦し、うまくいかなくても頑張ろうとする → → →	→ →	→ →
		③	・うまくいかなかったときもくじけずにまたやってみようとする → ・したくなくてもしなければいけないことがあることがわかる → ・できないと思ってもう少しやってみようとする →	→ →	→ →
	(2)	④	・先生や友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさがわかる ・鬼ごっこなどのルールのある運動遊びができる ・ブランコ、滑り台、ジャングルジム、雲梯など固定遊具の使い方がわかり、いろいろな遊具で遊ぶ(できるようになる運動) ・斜面の上り下り 三輪車をこぐ ・ボールを投げる・受け止める 跳び箱に飛び乗る 平均台を渡る ・ゴム跳び	・投げる、受け止める、蹴るなどの遊びを楽しむ ・固定遊具の遊びや木登りなど少し抵抗のあること、今までできなかったことに挑戦する ・よい姿勢でいることの大切さがわかる (できるようになる運動) ・転がる タイヤ跳び 転がしドッジボール おてだま ボールの蹴り合い ボールを受け止める 支えられての逆立ち 登り棒 まりつき なわとび 鉄棒の前まわり	・投げたり転がしたりしていろいろなボール遊びを楽しむ ・2輪車や1輪車など難しい運動に挑戦する ・ドッジボール、サッカーなどの集団遊びを友達と誘い合って楽しむ(できるようになる運動) ・2輪車の璃(補助輪なし) 竹馬 さかあがり 縄跳びの後ろまわり
		⑤	・手が汚れたら自分で気づいて洗う ・汗をかいたら必ず拭く ・寒くても手洗い、うがいをする	・暑かったら自分で服を脱いだり帽子をかぶったりする ・寒いと感じたら自分から服を着る ・歯の働きと大切さがわかる ・体のことに興味を持ち、嫌がらずに健康診断を受ける	・体調が悪い時は先生に申し出る ・その日の天候や体の調子に合わせて衣服や活動を自分で調節する ・伝染病に興味を持ち、手洗いを進んでする
		⑥	・お弁当や給食をみんなで食べることを楽しむ ・みんなで一緒に「いただきます」の挨拶ができる ・自分が育て収穫した野菜を食べることを楽しむ ・嫌いな食べ物でも食べたほうが良いことがわかり、頑張って食べようとする	・友達が全員そろってから食べようとする ・朝、昼、晩、定期的に食べることの大切さがわかる ・収穫した野菜を園で調理して食べることを楽しむ ・食物にはいろいろな栄養があることに興味を持つ ・自分が食べたものがどうなるのか興味を持つ ・甘い、からい、すっぱい、にがいなどの味に興味を持つ	・ある程度の時間内に食事を終えることができる・いろいろな栄養が体に必要であることがわかり、体の健康と食物との関係に関心を持つ ・食事を作ってくれた人や食材となる生き物に感謝の気持ちを持つ ・甘いものや辛いものを食べすぎると体に良くないことがわかる
	(3)	⑦	・箸が正しく使える ・歯みがきやうがいが正しくできる ・服、靴、靴下の着脱が自分でできる ・トイレやトイレトペーパーが正しく使える	・脱いだ洋服はきちんとたたむ ・自分で大便の後始末ができる	
		⑧	・靴箱、棚、道具箱などの自分の場所と正しい使い方がわかる ・かばんなどを所定の場所においてから活動する ・元の場所に片付けることの大切さがわかり、遊んだ後は元の場所に片付けようとする ・遊びの場を自分で作ろうとする	・掃除をしてきれいになると気持ちが良いことがわかる ・片付けてから次の活動をしようとする ・協力、分担して片付けることができる	・生活の流れがわかり、時間を意識して出したり片付けたりする ・自分からスリッパをそろえたりするなど、進んで生活の場をよくしようとする ・紙くずなどが落ちていたら気づいて拾おうとする ・上手に掃除ができる
		⑨	・園内にある危険な場所や物がわかる → ・危ないことはしないという意識を持つ → ・はさみ、まますご道具などの危険性がわかり、周囲にも注意して安全な使い方がわかる → ・安全な生活に必要な決まりや約束がわかり、守る → ・交通の決まりがわかり、車に気をつけて行動する →	→ →	→ →
	(10)	⑩	・避難訓練で先生の指示に従って落ち着いて行動できる → ・緊急時の合図や非常口の標識がわかる →	→ →	→ →
		⑪	・自分のこと、自分でできる事、しなければいけないことは自分でしようとする → ・当番などの役割を果たすことは自分の責任であることがわかる → ・友達や作品を気にせず自分の作品を作ろうとする → ・遊びに必要な遊具、用具、材料を自分で見つけようとする → ・その日に自分がすることについてある程度の見通しを持つ →	→ →	→ →
人間関係	(1)	①	・自分のこと、自分でできる事、しなければいけないことは自分でしようとする → ・当番などの役割を果たすことは自分の責任であることがわかる → ・友達や作品を気にせず自分の作品を作ろうとする → ・遊びに必要な遊具、用具、材料を自分で見つけようとする → ・その日に自分がすることについてある程度の見通しを持つ →	→ →	→ →

(2)	②	<ul style="list-style-type: none">・自分なりの遊びを創り出す → → → → → → → → → → → → → → →・身の回りの自然物や素材を遊びに取り入れる → → → → → → → → → → → → → → →・目的に合わせて道具や用具を使う → → → → → → → → → → → → → → →・遊びがより楽しくなるように工夫する → → → → → → → → → → → → → → →		
	③	<ul style="list-style-type: none">・自分なりに目的を持ち、始めたことは最後までやろうとする → → → → → → → → → →・今までできなかったこと、少し難しいことでも挑戦しようとする → → → → → → → → → →		
	④	<ul style="list-style-type: none">・友達に対して自分の思いを伝えようとする・自分のしたいことを先生に伝える・相手の思いをある程度受け入れることができる	<ul style="list-style-type: none">・一緒に遊ぶ中で、相手の思いを感じようとする・自分の思いを積極的に表現しようとする・自分と相手の思いには違うことがあることに気付く・自分の思いがあってもある程度友だちの思いに合わせる・トラブルの時、相手の言い分も聞こうとする	<ul style="list-style-type: none">・必要な場面で、話し合って決めようとする・話し合いでは自分の意見を出し、友達の意見を聞く・グループのみんなが納得できる結論を出そうとする・友達同士で意見がぶつかっても、お互いに折り合って、みんなの意見を一致させようとする
	⑤	<ul style="list-style-type: none">・友達に対して自分の思いを伝えようとする・自分のしたいことを先生に伝える・相手の思いをある程度受け入れることができる	<ul style="list-style-type: none">・一緒に遊ぶ中で、相手の思いを感じようとする・自分の思いを積極的に表現しようとする・自分の思いがあっても、ある程度友だちの思いに合わせようとする・トラブルの時、相手の言い分も聞こうとする	<ul style="list-style-type: none">・必要な場面で、話し合って決めようとする・話し合いでは自分の意見を出し、友達の意見も聞こうとする・友達同士で意見がぶつかっても、お互いに折り合って、みんなの意見を一致させようとする
	⑥	<ul style="list-style-type: none">・友達がいるから園生活が楽しいことがわかる・友達のしていること、持っているものに関心を持ち、自分も同じようにして遊ぼうとする	<ul style="list-style-type: none">・友達の作ったものに関心を持ち、作ったものを見せ合う・好きな友達の好きな所やその友達の好きなこと、好きなものがわかる・友達の作品や発表をほめることができる	<ul style="list-style-type: none">・友達の良いところに気が付き、先生やほかの友達に知らせることができる・友達の得意なものや自分の得意なものがわかり、分担、協力して活動を発展させることができる
	⑦	<ul style="list-style-type: none">・集団で遊ぶことの楽しさがわかる・友達と遊びの相談ができる・ままごとで、父、母、子どもなどの役になって遊ぶことを楽しむ・グループ競争で自分のグループを応援する・友達どうして、「～しよう」と提案しあいながら遊び提案しあいながら遊びを進める	<ul style="list-style-type: none">・ごっこ遊びなどで役割を決めて遊び始める・同じクラスの友達という意識を持つ・自分のグループやクラスが勝つと喜ぶ・砂場で、何人かで力を合わせて一つの山を作ったり一つの絵を完成することができる・友達がうまくできないときは励ましたり協力したりする・友達と相談して物事を決めようとする	<ul style="list-style-type: none">・みんなで協力して片付ける・友達と相談して何をするか決めてから遊びを始める・共通の目的をもって、お互いの意見を受け入れながら共同の作品などを作る・自分だけでなく、チームやグループのことを考えた提案をしようとする・自分の役割に責任を持つ
	⑧	<ul style="list-style-type: none">・自分のおうちがあることの大切さに気づく → → → → → → → → → → → → → → →・父親、母親が家族のため、自分のためにしていることに気が付き、感謝の気持ちを持つ → → → → → → → → → → → → → → →・父親、母親の仕事に興味を持つ → → → → → → → → → → → → → → →・父親・母親に感謝の気持ちを伝えることができる → → → → → → → → → → → → → → →		
	⑨	<ul style="list-style-type: none">・先生や友達に何かしてもらったら、「ありがとう」とお礼が言える → → → → → → → → → →・父親・母親に感謝の気持ちを持ち伝えることができる → → → → → → → → → →・園の職員、交通誘導の人、啓作館、消防士など生活に関係深い人に感謝の気持ちを持つ → → → → → → → → → →・食べ物を育てたり食事を作ってくれる人に感謝の気持ちを持つ → → → → → → → → → →・家で自分ができるお手伝いをしようとする → → → → → → → → → → → → → → →		
	⑩	<ul style="list-style-type: none">・園を訪れる高齢者や地域の人に親しみの気持ちを持つ	<ul style="list-style-type: none">・お年寄りや地域の人との交流を楽しむ・お年寄りや地域の人を迎えたら椅子を譲るなど、大切にしようとする・お年寄りに歌や自分たちの遊びを喜んで教えようとする	<ul style="list-style-type: none">・これまで頑張ってきたお年寄りに尊敬の気持ちを持つ・年を取るとどうなるかがわかり、自分の出来る事をやってあげようとする
	(3)	⑪	<ul style="list-style-type: none">・友達のけがやトラブルを先生に告げる・友達や先生が困っていると助けてあげようという気持ちを持つ・誰でも自分の遊び仲間に入れてあげようとする・友達を手伝ってあげようとする	<ul style="list-style-type: none">・友達がけがをしたり泣いていると「大丈夫？」と心配する・お休みしている友だちのことを心配する・当番など、友だちのためにしてあげてを喜ぶ・先生や友達に頼まれると喜んでする・自分が使っているもの、友達が持っていないものを貸してあげたり分けてあげようとする・役や順番を自分から交代する

環境	(1)	⑫	<ul style="list-style-type: none"> 園ではしてよいこととしてはいけないことがあることに気付く（人をたたく、人のものを黙って使う、わざと物を壊す、危険なことをする） 絵本で、よいことと悪いことがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 園では、してよいこととしてはいけないことがあることに気付く（うそをつく、友達を邪魔をする、ずるい方法で勝つ、約束を守らない） 絵本の登場人物の行動がよいことか悪いことか考えてみようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の行動がよかったか悪かったか考えてみようとする。 してはいけないことがあることに気付く（ルール違反、共同物の独り占め、ひきょうな振る舞い） ルール違反やずるいふるまいを注意できる。
		⑬	<ul style="list-style-type: none"> 先生が集まるように言うと、していることをやめて集まる 友達のものや友達が使っているものを使うときは「貸して」という 自分の順番を待つことができ、順番に物や道具を使おうとする 	<ul style="list-style-type: none"> 先生の許可が必要なことがあることがわかり、許可を得てから行う 集団行動でも、ルールに従って行動できる トラブルがおきたら、話し合って解決しようとする 遊びが楽しくなるように、自分たちでルールを変えたり作ったりする 人に言うてはいけないことがあることに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや生活、仕事などの決まりを自分たちで決めようとする。 ルールの足りないところや矛盾するところに気付き、話し合ってルールを付け加えたり修正したりする 遊びの中でトラブルが起きると、トラブルが起きないようなルールを考えようとする。
		⑭	<ul style="list-style-type: none"> 人のいやがることがわかる 自分の言葉や行動が相手を傷つけたり、いやな気持ちにさせることがあることに気付く 悪いと思ったらあやまる 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の思いを抑え込んで自分の思いを通すのはよくないことがわかる。 自分に思いがあってもある程度友だちの思いに合わせる 泣いている友だちを心配し、「どうしたの?」「大丈夫?」と声をかける 	<ul style="list-style-type: none"> ひとによるこんでもらえることや困っていることがわかり、してあげようとする。 友達に頼まれなくても友だちがしてほしいことに気付き、やってあげる
		⑮	<ul style="list-style-type: none"> 自分のもの、友達のもの、みんなのものの区別ができる → → → → → → → → → → みんなのものでも自分のものと同じように大切に扱おうとする → → → → → → → → → → 共同の遊具を使った後は、ほかの人が使いやすいようにもとの場所にきちんと片付ける → → → → 		
		①	<ul style="list-style-type: none"> 園内の生き物や植物に関心を持ち、草花や小さな虫などを見たり集めたりすることを楽しむ めあたらしいもの、興味があるものに自分で触って確かめようとする 飛ぶ、水の中にいるなど動物の違いに関心を持つ 動物の特徴や生態に関する絵本を興味深く見る 自然の季節の特徴に気付く 	<ul style="list-style-type: none"> 芽が出る、大きくなる、花が咲く、身がなるなど、植物の成長や変化に興味を持つ おもしろい形、かわいい形の木の葉など事前物の色や形、大きさに目を向け、珍しいものを集めようとする 小動物の食べ物や住んでいる場所に興味を持ち、小動物を探したり図鑑で調べたりする 自分の生活と関係の深い天候の変化に興味を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 小動物の深谷脱皮などの変化していく様子に興味を持ち、先生や友達に教えたりする 植物の成長や自然の小さい変化に気付き、不思議に思うことを先生に尋ねたり、図鑑で調べたりする いろいろな形や色の星があることに興味を持つ 雨はどうして降るのか、降った雨はどうなるのかなど、天候が変化する理由に興味を持つ
		②	<ul style="list-style-type: none"> 自分が植えた花や野菜が成長する姿を見て愛着を感じ、大きくなることを期待する。 小動物に関心を持ち、飼育してお世話しようとする 生きているものとそうでないものがあることに気付き、動物は生きていることがわかる 扱い方によって生き物が痛がったり嫌がったりすることに気付き、丁寧に扱う 採集してきたものを放りっぱなしにせず、片付けたり、元の場所に帰すなど大切に扱う 飼育している生き物を温かくしようとするなど、大事に飼育しようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 当番になって、飼育している生き物の世話を喜んでしようとする 見つけてきた小動物の飼育の仕方を調べてから飼育する 飼育している生き物には餌を持ち寄ってあたえたり、寒さを心配するなど、愛情をもって接しようとする 生き物のいやがらないような接し方を考える 種まき、水やり、草取りなど植物の育て方がわかり、成長や収穫を楽しみにする 自分の育てている植物は最後まで育てようとする 動かなくなる、えさを食べなくなるなど、生き物の死がわかり、生き物が死んだらかわいそうという気持ちを持つ 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの生き物に適したかわいがりがわかるようになる しばらく飼育したら、死ぬ前に逃がしてやろうという気持ちを持つ 生き物にとって住みやすい環境を考える 自分の栽培している植物に進んで水をやりたり水を変えするなど、大事に世話する 赤ちゃんの誕生に興味を持ち、赤ちゃんを大切にしようという気持ちを持つ 動物の子どもの誕生や親が子供をかわいがっている様子に興味を持ち、命の大切さを感じる
	(2)	③	<ul style="list-style-type: none"> 砂、土、水などの感触や性質の違いを感じ取る 形に興味を持ち、面白い形のものを集めたり、形を組み合わせて模様などを作ることを楽しむ はさみ、のり、セロテープなど、よく使う素材の性質や使い方に気付く 遊具や器具の中身や仕組みに興味を持つ 形や大きさの同じものを一か所に集めたり、同じ物ごとに片付けることができる 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろなものに手を触れたり、においをかぐなど、身近なものの性質を感じ取ろうとする 紅葉する木、葉を落とす木と、葉が緑のままの木、葉を落とさない木があることに気付いて関心を持つ 新しい素材を積極的に利用し、うまく使えるか試しながら遊ぶ 機械や器具に興味を持ち、触ったり、使ってみようとする 骨や筋肉、内臓など、人の体の仕組みに興味を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな素材や道具の特徴に気付き、その特徴を生かして使おうとする 高い、低い、遠い、近い、右、左などの違いがわかり、それに合わせた適切な行動ができる 身の回りのものの壊れやすいなどの性質がわかり、性質に応じた扱い方をする 雨と雪、氷と水の違いに気付く

(3)	④	<ul style="list-style-type: none"> 用意された素材を自分なりに考えて、選んで使う 使いやすい場や材料を探したり持ち出したりするなど、自分で考えながら目的をもって環境に関わろうとする 色水遊びでどんな色ができるのか、いろいろと試す 珍しいものを見つげたり、天候の変化など身の回りで起こる様々な事象に対して、何だろう、なぜだろうと疑問を持つ、 わからないことは先生に尋ねたり、自分で考えたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じていろいろな素材、道具の使い方、組み合わせ方を工夫する 砂場の遊びで、砂と土と水をうまく加減して使う 色水遊びで、元の色とは違う色の水ができる事に興味を持ち、色水を混ぜていろいろな色水を作ろうとする 虫メガネや顕微鏡の用途がわかり、大きくしたり、遠くを見たりすることを楽しむ 知りたいこと、わからないことを自分なりに調べてみようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 動くおもちゃや機械類に関心を持ち、動く仕組みを知ろうとする 砂場遊びで、水を流れやすくする、池を作る、砂が崩れないように高くするなどの工夫ができる 虫眼鏡で拡大したり磁石でくっつくかどうか試し、新しい発見を楽しむ 遊びに必要な用具を探し、見つからないときはそれに代わるものを見つける 自分が知らなかったものやわからないことがあると図鑑や友達と分担して調べようとする
	⑤	<ul style="list-style-type: none"> 交通信号がわかり、信号に従って横断歩道を正しくわたることができる お店に関心を持ち、売っているものかわかる バス、救急車、消防車、パトカーなどの違いがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 駅、郵便局、消防署、警察署などの施設と、そこでの仕事に興味を持つ 晴れ、曇り、雨などの記号がわかり、興味を持つ テレビなどで話題になっている出来事に興味を持ち、友達どうして話合ったりする 	<ul style="list-style-type: none"> 大きな事件が起こると興味を持ち、先生に尋ねたり友達と話し合ったりする 駅や消防署、警察官などの仕事を理解しようとする オリンピックが日本で開かれることに興味を持つ 温暖化、砂漠化などの環境の問題に興味を持つ
	⑥	<ul style="list-style-type: none"> 七夕の行事に興味を持つ 地域のお祭りに参加して楽しむ お正月の意味がある程度わかり、お正月の遊びを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のお祭りに参加し、地域の人とのかかわりを楽しむ こいのぼりを作って飾ることを喜ぶ お月見で、月にうさぎがいるかや、望遠鏡で見た月の表面に興味を持つ お餅つきや大みそかの行事など年末の行事に興味を持つ 節分の行事に参加して楽しみ、鬼や福の意味を考える わらべ歌は日本の伝統的な歌であることがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 和太鼓、琴、三味線などの伝統楽器やお茶や生花、日本舞踊などの伝統的な文化に興味を持つ 七夕、節分などの行事の意味を考えてみようとする 七夕を機会に星に興味を持つ 雪国の生活などの写真や絵本に興味を持ち、自分たちとの生活との違いに気付く 地域に伝わるお話しや伝説に興味を持つ
	⑦	<ul style="list-style-type: none"> 日本とは違う国があることに興味を持つ 地図や地球儀を見ることに興味を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 外国の言葉や服装、遊びなどに興味を持つ 運動会などの行事を通して、いろいろな国の国旗があることに興味を持つ 世界にはいろいろな肌の色の人がいることがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の国の名前に興味を持ち、関心のある国がどこにあるか、地図や地球儀から探そうとする 動物園で飼育されている生き物が世界のどのあたりで生息しているか興味を持つ カレー、スパゲティー、パンなどの食べ物をもっとはどの国で食べられていたのか興味を持つ
	⑧	<ul style="list-style-type: none"> 配られたものや容器に入れた水の量などの多い少ないに興味を持つ 7時に起きる、9時に寝るなど、生活に関連した時間に興味を持つ お店屋さんごっこで、お金のやりとりを楽しむ 言われた数だけ物をとったり、置いてある数だけのものを置くことができる 休んだ友だちの数、今いる友だちの数を正しく伝えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 数を数えることに興味を持ち、人数を数えて物を配ることができる グループで、出欠席している友だちの数がわかる 身長、体重などの数が長さや重さの表示だと分かり、自分の身長や体重に興味を持つ 自分の順番に興味を持ち身長の順番に並ぶことができる 1列に並んで、自分が何番目かわかる 1から10までの数字を順に並べることができる 1から10までの数を読むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 使った後の用具を点検して数を確かめることができる グループの人数を確認して、性格に人数分だけ配ろうとする お金の金額がわかり、お店屋さんごっこなどでお金やお釣りのやり取りをして楽しむ もともとと同じ量の水は、別の容器に移し替えて見かけが変わっても同じということがわかる

		<ul style="list-style-type: none"> 靴箱や道具箱の印に興味を持ち、印で区別すると便利なのがわかる 自分の名前や友達の名前、動物や乗り物の名前など、身近な文字に興味を持つ 絵本の文字に興味を持ち、なんという文字なのか知ろうとする 数字に関心を持ち、数字を見つけて教える 身の回りにある簡単なひらがなの単語を読むことに興味を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> わからない記号や文字を先生に聞こうとする ひらがなが一時ずつの拾い読みでも読めることを楽しむ ひらがなと漢字の違いに興味を持つ 絵本の中の短い文章を自分で読もうとする 文字を書くことに興味を持ち自分の名前を書こうとする 簡単な文章をひらがなで書き、先生や友達に見せたり、読んでもらうことを喜ぶ 先生に頼まれて、別の先生に短い文を伝え、返事をもらって帰るお供えを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 1から10までの数字を読むことができる のりものごっこで、道路標識や交通信号を作り、遊びに取り入れて楽しむ 知っている絵本を声を出して読んだり書いたり、知らない字でも見よう見まねで書こうとする 自分の絵などには自分の名前を書いて、自分のものだと分かるようにする ひらがながほとんど書け、手紙などに使う 郵便屋さんごっこで、文字や記号などを使って先生や友達に手紙で伝え合うことを楽しむ
言葉	(1) ①	<ul style="list-style-type: none"> やりたいこと、してほしいことを言葉で伝えようとする いやなときは言葉で「いや」と言える 「ここはこうしよう」と提案できる 経験したことを先生や友達に話す 嬉しかったこと、感動したことを言葉で伝える 絵本の中で自分の知っていることを言おうとする おもしろいもの、不思議なものを見つけると先生や友達に伝えようとする 「いつ」「どこで」という質問に答えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が描いた絵や作品などを友達に言葉で説明し、思いが伝わると喜ぶ 「ここはこうしよう」など言葉で確認し合いながら遊びを進める グループの話し合いで自分の考えを出すことができる 絵本やお話のあらすじをつかんで、人に話してあげることが喜ぶ 「美しい」などの感動を言葉で表現しようとする 友達同士で楽しかったこと、驚いたこと、感動したことを話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えと違っても、お互いに思いや考えを伝えようとする 気の合う友だちと話しながら、思いがわかってもらえる楽しさを感じる いろいろなものの性質や特徴を感じ取り、言葉で表現しようとする 幼稚園生活で楽しかったこと、心に残ったことを話すことを楽しむ
	(2) ②	<ul style="list-style-type: none"> 友達の話や経験を、興味を持って聞く いつ、どこで、誰が、どうしたかをきちんと話す きちんと話さないと相手がわからないことに気付く 自分の話が、相手にわかった、わからなかったに気付く 絵本の絵を見て、どのような場面か説明できる 先生が話し始めると話をやめ注意して聞く 短い話なら、先生の話最後まで聞くことができる 	<ul style="list-style-type: none"> みんなの前で緊張しないで普通に話すことができる 「いつ」「どこで」「なにをした」と、筋道を立てて話すことができる 自分がわかっていることでも相手がわかっているわけではないことに気付く その日した活動の大筋を話すことができる 先生が話しているときは、私語やいたずらはよくないことがわかり、我慢しようとする 先生の合図や指示をしっかりと聞き、その通りに行動する 	<ul style="list-style-type: none"> 主語、述語、時間をいれてきちんと話す 相手にわかってもらえないときは言い方を変えて話そうとする 先生に話は、少し長くても集中して聞ける 友達が話しているときは割り込まないで、友達が話し終わるまで聞こうとする 先生の指示を最後までちゃんと聞いて、聞き終わってから行動しようとする 席について、集中して先生の話聞くことができる
	③		<ul style="list-style-type: none"> グループで話し合いができるようになる グループやクラスで何かを決めるときに話し合いの必要性に気付く 話し合いで、自分の意見を言うことができる 遊びや仕事の相談で、ほかの友達の話聞こうとする 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いでは、自分の意見を積極的に表現する 話し合いで決まったことは、自分の思いとは違っていても従うことができる いろいろな意見が出たときは、どの意見が一番いいか考えようとする 意見を言わない友だちの思いを聞いてあげる
	(3) ④	<ul style="list-style-type: none"> 絵本を読んでもらったり、お話を聞くことの楽しさがわかる お気に入りの絵本ができて、何度も自分で見たり、先生に読んでもらおうとする やさしい内容のお話しや絵本なら内容が理解できて、内容や展開に興味を持つ 絵本やお話を聞いた後、主な登場者が言える 同じストーリーを何度か聞くと、ある程度全体のあらすじがわかるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ストーリーに興味を持ち、繰り返しや山場のあるストーリーに興味を持つ 絵本の登場人物がなぜそんなことをするのか考えようとする 登場人物の行動を批判したり、どのように行動すればよかったのか考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 長めの絵本やお話しでも、終わるまで集中して聞こうとする 一度聞けば全体のあらすじがつかめるようになる 登場人物の気持ちを考え、理解しようとする 小学校の教科書に興味を持つ

		⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・ペープサートなどで言葉のやり取りを楽しむ ・家族で交わされる言葉やアニメで交わされる言葉を模倣してままと遊びを楽しむ ・自分が好きなものの名前に興味を持ち、わからないものを尋ねたり、図鑑を見たりしながら名前を憶えようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本やお話で分からない言葉が出てくると意味を尋ねようとする ・上、下、前、後などの位置、厚い、寒い、温かい冷たいなどの感覚を表す言葉を身につけ、その場でうまく使える ・一つのものにも地域や国によっていろいろな言い方があることに興味を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生に、難しい言葉、わからない言葉を探ねる ・反対語がわかり、反対語を言うことを楽しむ ・劇遊びなどで、自分の配役に合った言葉を考える ・大人の使う難しい言葉も積極的に取り入れて使おうとする ・外国の言葉に興味を持つ
		⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や友達と「あーぶくたった」などの、動きを伴う簡単な言葉遊びを楽しむ ・お店屋さんごっこで、「いらっしゃいませ」「これください」などの売り買いの言葉を交わしながらおみせやさんごっこを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や友達を使うおもしろい言葉、美しい言葉を積極的に取り入れようとする ・「あ」のつく言葉、「か」のつく言葉などを考えて言い合うことを楽しむ ・よい言葉と悪い言葉、汚い言葉、乱暴な言葉の違いがわかり、悪い言葉は使わないようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びや劇遊びで、せりふを登用人物らしく言おうとする ・しりとり遊びのルールがわかり、先生と一緒に、あるいは幼児だけでしりとり遊びを楽しむ ・きれいな言葉、汚い言葉の違いがわかり、自分で意識してきれいな言葉を使おうとする
表現	(1)	①	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなものの出す音の違いに興味を持つ ・身の回りの興味深いものに、きれいな、おもしろい、かわいいなどの気持ちを持つ ・虫や動物の鳴き声、動きなどに興味を持ち、その特徴や面白さを感じ取ろうとする ・それぞれの楽器が出す音の違いに興味を持つ ・夏の暑さ、冬の寒さを気温や水の温度から感じ取る ・絵本で、笑っている顔、怒っている顔の区別ができる ・紅葉したきれいな木の葉を集めようとする ・絵本で、登場人物の嬉しい、楽しい、悲しいなどの気持ちを感じ取ろうとする ・いろいろなきれいなものを見て「きれい」という ・草の芽吹きを喜び、春が近いことを感じて、花を見たり摘んだりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨の降る様子や雷などの天候の変化のおもしろさがわかる ・水の動きのおもしろさに気付く ・虫の鳴き声の違いに興味を持つ ・木の実や葉の形のおもしろさに興味を持つ ・音の出るものを使った音当てごっこを楽しむ ・いろいろな楽器の出す音がわかり、音色の違いに興味を持つ ・色水遊びで、いろいろな花や葉からいろいろな色が出ることに興味を持つ ・水に触れる心地よさを楽しむ ・身近にあるきれいなものが言える ・自然の実りに気付いて、驚いたり喜んだりする ・秋の紅葉した様子を美しいと感じる ・生き物が、寒い中で頑張っていることに感動する ・絵本の内容から、楽しい話、悲しい話などを感じ取る 	<ul style="list-style-type: none"> ・音の音色、高低とその音を出すものの特徴との関係に興味を持つ ・力強い、軽快、明るい、美しい、静かななどの音楽の感じがわかるようになる ・楽器や乗り物、風の音、動物の鳴き声の違いや面白さがわかり、聞いたり当てたりする遊びを楽しむ ・紅葉した葉のコントラストを美しいと感じる ・雪の景色や、積もった雪に光が当たっているのを見て美しいと感じる ・雪や氷の結晶が美しい形をしているのがわかり、感動する ・お話を聞いて、話の内容や主人公の気持ちに共感する ・動物の子育てや子どもに示す愛情に感動する ・赤ちゃんの誕生や卵の府かに興味を持ち、命の誕生に感動する
	(2)	②	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなものに感じたイメージを自分なりに表現しようとする ・親しみのある生き物の声やしぐさをまねて表現することを楽しむ ・動物や乗り物の動きを、それらしく表現する ・リズムに合わせて歩く、走る、跳ぶ、手をたたく、体操する、踊るなど、自分の思いのままに体を動かすことの楽しさがわかる ・夏の暑さ、冬の寒さを肌で感じ、いろいろな方法で表現しようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達どうして、楽しかったこと、驚いたこと、すごいと思ったこと、感動したことを話し合う ・興味のある動物の声や動きを動物ごっこに発展させて、自分のイメージを伝え合う ・絵本やアニメからのイメージをふくらませ、劇遊びに発展させたりして楽しむ ・曲に合わせて生き物の動きを表現することを楽しむ ・風の音、雨の音などを感じ、言葉や動作で表現する ・楽しい、悲しいなどの感情を超えや身振りでそれらしく表現しようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本やお話の中で印象の強かったことを話し合ったり、ごっこや劇遊びで表現しようとする ・様々のものの特徴を自分なりに感じ取り、自由に表現することを楽しむ ・花や新緑、紅葉、雪景色の美しさを感じ取り、絵で表現しようとする ・音楽を聴き、曲の感じを捉えて、その場で思いついた即興的な動きを楽しむ ・運動会などの経験した心の残る活動のイメージを言葉や運動遊びで再現しようとする

Organization of kindergarten curriculum model

Toshiaki TANAKA^{*1}, Masumi ISHIKAWA^{*2}, Masae SADAKATA^{*3}

^{*1}Department of Childhood Care and Education, Kyushu Women's Junior College

1-1 Jiyugaoka, Yahatanishi-ku, Kitakyushu-shi, 807-8586, Japan

^{*2}Department of Childhood Care and Education, Toyooka Junior College

160 Tomaki, Toyooka-shi, 668-8580, Japan

^{*3}Non-full-time Teacher of Fukuoka University of Education

1-1 Akamabunkyo-machi Munakata-shi, 811-4192, Japan

Abstract

The curriculum is the starting point of education. Educational activities are developed based on the curriculum. There is no solid curriculum model for kindergarten education.

Therefore, it is necessary to create a curriculum model which ensure educational plans and practices.

- ① Intended for the kindergarten education period(3years old－5years old)
- ② The curriculum is composed of the desired child image, educational aims, objectives and contents, instruction contents according to age, childcare events, and cooperation with families, elementary schools, and communities
- ③ Show all possible goals and content
- ④ The aims and contents are organized based on the aim and contents of the five areas of the kindergarten education guidelines.
- ⑤ Shows the relationship between the content and the three qualities and / abilities and expected 10 items which are listed kindergarten education guidelines.
- ⑥ Aims and contents should be balanced between areas and contents within areas so that there is no big bias

An organized kindergarten curriculum model were presented with some omitted